

CSR レポート 2012

Corporate Social Responsibility Report



CSR レポート 2012

1

トップメッセージ

2

当社の CSR

CSR 方針の策定

CSR 推進体制

CSR 浸透説明会

3

CSR 活動報告

1

法令遵守

コンプライアンス意識の向上

2

安全・品質

労働安全衛生

船舶安全運航

品質の向上

3

環境・社会貢献

環境負荷の低減

社会・地域への貢献

【参考】

メッセナゴヤ 2011

エコシップ

豊田物流センターとエコ機能

1 トップメッセージ

はじめに

近年、リーマンショック以降、政治・経済・社会が混乱し、先の読めない厳しい状況が続いております。そのさなか、昨年3月11日に発生した東日本大震災は、地震と津波によって東北・関東地方に甚大な被害をもたらし、日本全体が危機管理の在り方を問われ、企業においても存在意義や新たな経営課題など、今一度、事業そのものを見直す契機となったことと思います。

弊社では、あらためて社会の一員としての責任を果たすことを再認識し、2011年4月、CSR方針『「和」でつなぐ人と社会』を策定致しました。



CSR方針の浸透

CSR活動を運営・継続していくために、「法令遵守」「安全・品質」「環境・社会貢献」という三つの分会からなる、推進委員会を発足致しました。この委員会は、経営理念である「社会から信頼される企業を目指す」「社会・地域に貢献していく」ことを共通認識として、従前から行ってきた様々な活動、「労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)・ISO9001・ISO14001」、「小中学生の社会見学への協力」、「児童福祉施設の訪問」などを、ひとつのCSRにつなぐところからスタートしました。

そして昨年7月より、全事業所の社員を対象にCSR浸透説明会を開催し、これを機にCSRの意義を共有することができました。

これからのCSR

この度、こうした活動をとりまとめ、皆さまにお知らせすべく「CSR報告書」を掲載する運びとなりました。フジトランス コーポレーションの社員全員が強い使命感をもって、今後とも地域・社会の皆さまと親密な関係を築き、ご期待と信頼にお応えして参ります。

今後とも皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

2012年6月

代表取締役社長

系井辰夫

2 当社の CSR

2010年4月、中期経営計画「ビジョン 2015」を策定し、ビジョン達成のための行動指針として、フジトランススピリッツ(6C)を定め、その一つに「CSR」を掲げました。

CSR方針の策定

◆『「和」でつなぐ人と社会』

2011年4月、社是・経営理念をもとに『「和」でつなぐ人と社会』をCSR方針としました。この方針には、お客様・地域社会・従業員が共に成長していくという思いが込められています。当社ではCSR活動を次の3つの領域に分類しています。【企業の出発点】では法令遵守、【物流の使命】では安全・品質管理の徹底と新しい事業分野への積極的な取組み、【社会への還元】では環境負荷を低減し、地域社会との交流を推進していきます。

◆3つの領域とCSR活動

1.【企業の出発点】企業として取り組むべき領域

法令と社会規範を守り、常に誠実で公正な活動を行う。
企業は社会の一員であり、良き企業市民として成長・発展していく。



法令遵守

2.【物流の使命】本業そのものがCSRとなる領域

物流事業者の使命として、安全で高品質なサービスの提供をする。



安全・品質
新分野への挑戦

3.【社会への還元】社会へ感謝する領域

地球環境に配慮し、快適な社会と地域づくりに貢献する。
社会から学んできた事に深く感謝し、社会の期待や希望に応えていく。



環境・社会貢献

CSR 活動

◆5つの方針

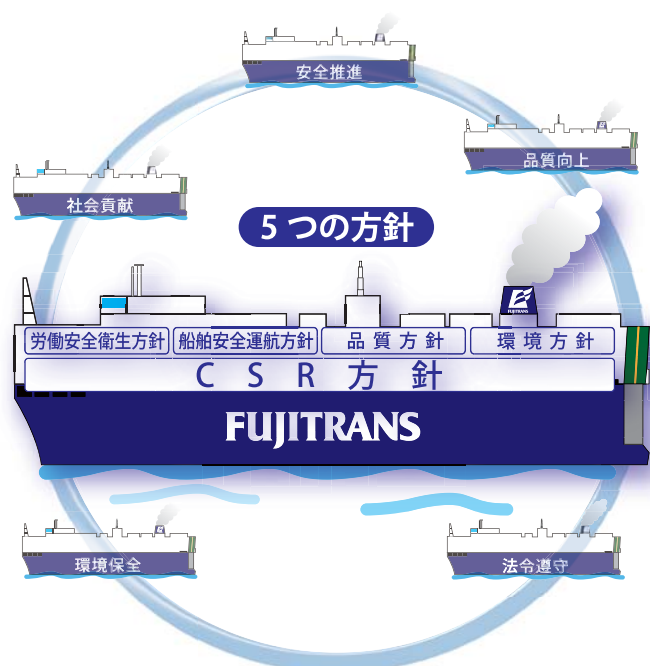
CSR方針を中心とした、5つの方針を経営の基本とし、それを推進することで企業価値を高め、持続的な発展成長を目指しています。

労働安全衛生方針では、安全な職場づくりと労働災害ゼロを目指し、徹底した安全衛生管理に取組み、従業員の安全と健康を確保します。

船舶安全運航方針では、海上輸送に携わる社会的責任を認識し、関係法令及び自社の安全管理規程の遵守を徹底し、更なる安全運航を推進します。

品質方針では、お客様のニーズに適したサービス提供に向けて、物流システムの改善を図り、品質の向上を業務遂行の基本としています。

環境方針では、地球温暖化の問題への対応として、CO2の削減に努めます。また、地域社会との関わりを大切に、地域の環境保全にも積極的に取り組んでいきます。



◆5つの方針カード

この方針を正しく理解するために「フジトランス コーポレーション5つの方針カード」を全従業員に配布しました。カードを携帯することで、従業員一人ひとりが方針に沿って行動ができるよう努めています。

【フジトランス コーポレーション 5つの方針】

フジトランス コーポレーションは、総合物流企業として、誠実に公正な企業活動により社会・地域・お客様に貢献し、持続的に発展成長する事を目指す。従業員の労働安全衛生・船舶の安全運航・環境保全・品質確保を経営の基本とし、次の5つの方針を実施・推進する。

FUJITRANS

【CSR 方針】
——「和」でつなぐ人と社会——

- 【企業の出発点】** 企業として取り組むべき領域
法令と社会規範を守り、常に誠実に公正な活動を行う。企業は社会の一員であり、良き企業市民として成長・発展していく。
- 【物流の使命】** 本業そのものが CSR となる領域
物流事業者の使命として、安全で高品質なサービスの提供をする。
- 【社会への還元】** 社会へ感謝する領域
地球環境に配慮し、快適な社会と地域づくりに貢献する。社会から学んできた事に深く感謝し、社会の期待や希望に応えていく。

【労働安全衛生方針】

- 安全な職場づくりと労働災害ゼロを目指し、グループ会社及び協力会社と一丸となって、事業において安全衛生活動を推進する。
- 法規・協定はもとより、自主基準を定め、これを遵守すると共に継続的な安全衛生管理に取組み、従業員の安全と健康を確保する。
- PDCA サイクルの適切な実施及び運用により、生産と一体となった良好な安全衛生活動の成果の獲得と向上に努める。
- 労働安全衛生マネジメントシステムに、社（員）の蓄積された知識と技能を織込み、発展的な独自の安全衛生の構築と継承を図る。
- 「安心・ゆとり・快適」な職場であるよう、必要な経営資源の投入を図り、働きがいのある職場環境の形成を促進する。

【船舶安全運航方針】

- 海上輸送に関わる関係法令等の遵守、及び自社で定めた安全管理規程の遵守を徹底する。
- 海上輸送に携わる社会的責任を認識し、海陸が一体となって安全最優先の原則を徹底する。
- 船舶運航の安全管理体制を適切に維持管理すると共に、継続的な改善の実施により、更なる安全運航を目指す。
- 安全運航に関する教育及び訓練の実施により、海陸の安全意識の向上を図ると共に、適切な危機管理を推進する。
- 安全・安心で環境に優しい海上輸送サービスの提供を目指し、日頃から積極的な安全活動の推進及び環境負荷の低減に取り組む。

【品質方針】

- お客様よりお預かりした、大切な軽量貨物から航空宇宙機器までを総合輸送（陸上・海上・航空）するプロ集団企業として、更なるIT化を図り、お客様のニーズに適したロジスティクスサービスを提供する。
- お客様との合意事項及び ISO の規格並びに法令・協定等の要求事項を遵守して、誠実に公正な企業倫理に基いた事業活動を展開する。
- 品質活動を有効に推進するために、自主的な物流システムの改善計画を策定し、継続的且つ発展的な維持を図る。
- 品質並びに安全・環境への徹底した配慮を業務遂行の基本とし、社員全体の知識と技能を向上させるために、適切な教育を実施して啓発を図る。
- フジトランスグループ及び協力会社と共通認識のもと、お客様との良きパートナーシップを通じて、相互コミュニケーションを図り、お客様と共にグローバルな視点で輸送の明日を構築する。
- 重点項目目標
安全を最優先し、人身・物損事故、納入遅延、誤出荷 ゼロ件

【環境方針】

- 事業活動に関係する会社と協調し、省資源・省エネルギー及び廃棄物の抑制を図り、環境汚染の予防に努める。
- 環境に関する法規・協定、その他の合意事項の遵守はもとより、必要に応じて自主基準を定め、環境保全を推進する。
- 目的・目標を設定し、取組み結果を見直す事により、環境に関する社内システムの維持・継続的改善に努める。
- 環境教育・広報活動を実施し、全社員への環境方針の周知と環境に関する意識向上を図る。
- 地域社会との対話を大切にし、地域における環境保全活動を積極的に展開する。

◆フジトランス「力」

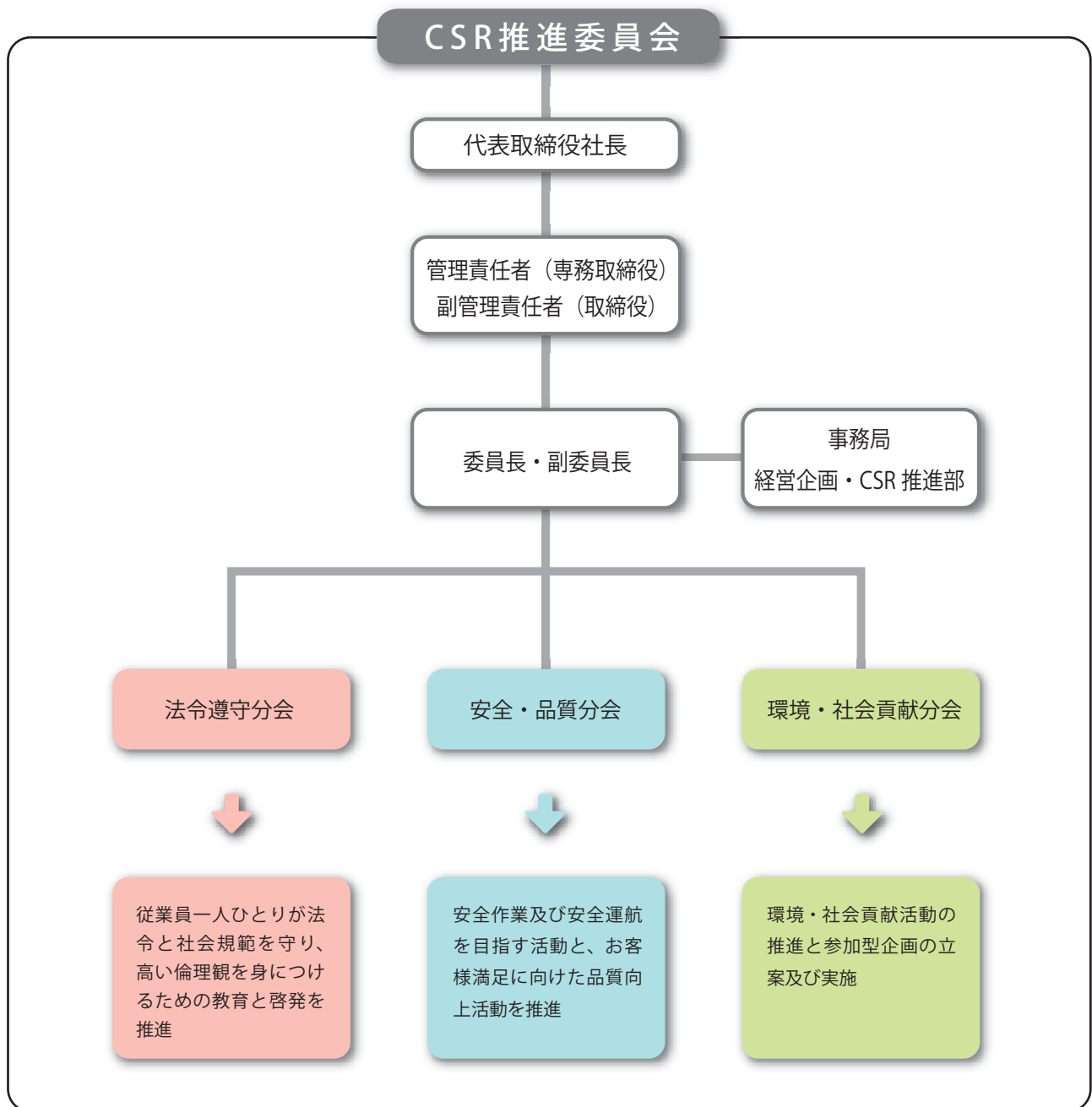
5つの方針にもとづいて行動することが、お客様のために真心で答えたい！ という当社の思いと結びつき、CSR方針にある3つの領域からCSRを推進します。ここからフジトランス「力」という新しい「力」を生み出し、CSR活動を継続することがフジトランス「力」を更に強くしていくと考えています。



CSR推進体制

◆CSR推進委員会の設置

CSR活動の社内外への発信、新規企画の立案と実施のために、2011年6月「CSR推進委員会」を発足しました。CSR推進委員会の体制は、経営トップ主管のもと、選任された取締役が管理責任者及び副管理責任者となり、CSR方針の3つの領域と同じ「法令遵守分会」「安全・品質分会」「環境・社会貢献分会」から構成されています。



CSR浸透説明会

◆CSR浸透説明会の実施

2011年7月～9月、名古屋地区の各事業所と全国の支店において、CSRの全社的な周知を目的としたCSR浸透説明会を開催しました。業務都合を考慮して、同日同会場での複数開催により延べ回数は63回、参加者数は1,062人に達しました。

説明会へはCSR管理責任者が同行し、CSR方針、CSRの必要性・推進体制について説明しました。その中で、CSRが社会やお客様からの信頼を高め、会社の未来と従業員の幸せのために無くてはならないものであることを伝えています。

参加者には、従業員一人ひとりのCSRへの意識向上をねらいとして、CSR方針をまとめたリーフレットを配布しました。



CSR 方針リーフレット

◆CSR方針ポスターの掲示

CSR浸透説明会の開催と並行して、CSR方針ポスターを全事業所に掲示しました。

お客様・地域の皆様・従業員が手に手をとったイメージの『『和』でつなぐ人と社会』と、従業員が団結して未来へ駆け出す姿をモチーフにした『フジトランス「力」』を表す2種類のポスターを作成し、CSR意識を高めています。



CSR 方針ポスター

3 CSR 活動報告

1 法令遵守

企業が社会から信頼されるためには、法令はもとより、従業員一人ひとりが高い倫理観を持ち、社会規範・社内規程に至るまで様々なルールを守りながら業務に取り組んでいます。

コンプライアンス意識の向上

◆コンプライアンス勉強会

関係法令を正しく理解し、誠実で公正な企業活動を継続するために定期的にコンプライアンス勉強会を開催しています。関係法令に精通した従業員を社内講師としたり、外部から専門家を招いて、立法主旨や業務上注意すべきポイントを中心に講義を行っています。

2011年度は、「与信管理」「倉庫業法」「労働基準法」「港湾運送事業法」「下請法」の勉強会を実施しました。

勉強会の内容

第1回	5月 与信管理
第2回	7月 倉庫業法
第3回	11月 労働基準法
第4回	11月 港湾運送事業法
第5回	11月 下請法

与信管理

2011年5月13日、営業取引上のリスクを回避するため、与信管理の勉強会を実施しました。社外講師より「取引先の判断基準」「信用調査報告書」について講義して頂きました。

倉庫業法

倉庫業法にもとづいた適正な管理・運営のため、2011年7月26日、倉庫業法の概要について勉強会を実施しました。社内講師によって「営業倉庫」「倉庫業の沿革」「倉庫業の機能と仕組み」「倉庫の施設設備基準」「倉庫業法の概要」について講義が行われました。



労働基準法の勉強会

労働基準法

労働基準法の基本について全社的に理解を深めるため、2011年11月21・28・30日の3日間、勉強会を実施しました。社外から講師を招いて、要点である就業規則、労働協約、労働契約、解雇、労働時間等を講義して頂きました。勉強会は、当社及び関連会社の経営層を対象に開催し、今後は部門長以下、各階層の従業員に向けて順次実施していく予定です。

港湾運送事業法

当社の中核事業の一つである港湾運送事業において、その法律の知識は最も重要となります。2011年11月24日、「港湾の機能と現状」「港湾運送事業法の沿革・概要」「港湾運送事業の現状と課題」について、社内講師による講義が行われました。勉強会へは関係部署はもちろん、管理部門や関連会社からも多くの参加希望者が集まりました。

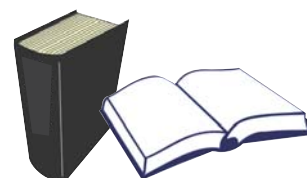


港湾運送事業法の勉強会

下請法

毎年11月は公正取引委員会及び中小企業庁の定める「下請取引適正化月間」です。当社では2011年11月29日、下請取引の適正化を一層推進するため、下請法の勉強会を実施しました。

対象事業者への適正な発注書の送付状況をチェックし、公正な取引の継続を指導しています。



◆コンプライアンス意識調査

CSR推進委員会の法令遵守分会は、2011年12月～2012年3月にかけて、コンプライアンス意識の向上を図るため、「モラル」「法令」「規則」について社内調査を実施しました。集計結果を配布する際に設問毎の解説を付け、更に理解を深めるよう努めました。

コンプライアンス意識調査

第1回	2011年12月	モラル・マナー、重要方針 編
第2回	2012年1月	労働時間、過重労働、セクハラ・パワハラ、労働災害 編
第3回	2012年2月	独占禁止法・下請法、請負、不法投棄 編
第4回	2012年3月	安全管理、情報管理 編

この調査の集計結果から課題を抽出し、次回勉強会のテーマ強化といった対策を実施することで、コンプライアンス意識の向上を目指していきます。

意識調査の設問と解説(全4回を抜粋)

今後も設問内容を検討し、調査を継続していく予定です。

【第1回 モラル・マナー、重要方針 編】

	設問	解説
モラル・マナー	社員間、外来者、お客様に対する挨拶、会釈ができています。	挨拶は、人間関係の最も大切な潤滑油です。気持ちの入った簡単な一言が長続きする豊かな人と人の絆を作ります。 慣れてしまうと挨拶も雑になります。いつも基本を守りましょう。 1. 相手の目をみて! 2. 挨拶は笑顔で! 3. 大きな声で!
重要方針	スローガン：フジトランススピリッツ(6C)を理解している。	【Communication】コミュニケーション お互いを助け合い、切磋琢磨し、チームとして連帯感を持つ。 【Constitution】体質・気質 フジトランスの心意気を持ち続け、業務に精通し、更に極める。 【Creative】創造 言われた事をこなすだけでなく、工夫、創造し、新たな提案をし続ける。 【Challenge】「まず、やってみよう!」の姿勢で、攻める勇気と覚悟を持って挑戦する。 【Customer Satisfaction】顧客満足 お客様の笑顔のために、真心を込めて要望に応える。 【CSR】企業の社会的責任 企業の一員としての責任を自覚し、社会・地域に貢献する。

【第2回 労働時間・過重労働、セクハラ・パワハラ、労働災害 編】

	設問	解説
労働時間・過重労働	始業時刻前に出社し、出勤時間を正確に打刻し、定刻に自分の職場についている。	始業前に着席することでスムーズに業務を開始することができます。
労働災害	労働災害(労災)とはどのような災害のことを指すのか理解している。	労災は次の内容の災害が該当します。 業務遂行中に発生する災害かつ業務に起因する災害、疾病。

【第3回 独禁法・下請法・請負・不法投棄 編】

	設問	解説
独禁法・下請法・請負・不法投棄	あなた(または会社)は下請業者と契約する際、契約書若しくは発注書面を作成し交付している。	書面交付の義務に違反すると、50万円の罰金を受ける可能性があります。 (下請法3条) 所定の具体的記載事項を記載している書面を交付しなければなりません。
	産業廃棄物の処理(運搬及び処理)を他人に委託する場合、適切な許認可をもった運搬業者及び処分業者に委託している。	委託先遵守義務違反すると、「5年以下の懲役若しくは1千万円以下の罰金または両方」を受ける可能性があります。(廃棄物処理法25条)

【第4回 安全管理、情報管理 編】

	設問	解説
安全管理	地震による津波発生が予想される際の、勤務場所における緊急避難経路及び避難場所を知っている。	各事業所に掲示されています。今一度、避難経路及び避難場所を把握しましょう。
情報管理	プリンターやコピー機の上に資料を放置していない。	印刷内容が多数の目に触れることとなります。印刷物は、速やかに回収するか、不要な資料は印刷しないようにしましょう。

2 安全・品質

安全・品質は物流事業者としての使命です。従業員の安全衛生を最も重要な責務、社会的責任と認識し経営と現場が一体となって、安全管理と品質向上に取り組めます。

労働安全衛生

◆労働安全衛生マネジメントシステム

2002年6月、労働災害の潜在的危険性の低減と安全衛生水準の更なる向上を図るため、労働安全衛生マネジメントシステムの規格の一つであるOHSAS18001を認証取得し運用しています。経営トップの指揮のもと安全衛生活動を経営と一体化させ、PDCAサイクルによる継続的改善に努めています。

労働安全衛生プログラムの取組み

2011 年度 労働安全衛生マネジメントプログラム

労働安全衛生目標	実施方策
OH&S マネジメントシステムの継続的運用	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局による現地現物確認 ・内部監査の実施、内部監査員の養成 ・マネジメント・レビューの実施
事故・事故誘因の排除	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメント及びリスク管理の実施 ・リスクアセスメント手法の全国車輛拠点への普及
適用される法規及び社内基準（手順書）の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法規の特定及び社内基準の設定・見直し ・関連法令改正等への対応
安全衛生管理体制の確立・維持	<ul style="list-style-type: none"> ・経営層による委員会活動の点検 ・「激励の日」の職場巡視 ・長期連休前の防火・防犯点検
「無事故・無災害」の達成	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生活動の推進及び継続的改善 <ul style="list-style-type: none"> 1. 事故対策の継続的管理及び改善 2. 安全ミーティング（安全衛生委員会等） 3. 職場点検 ・ヒヤリハット、K Y活動の推進と対策改善 ・ゼロ災キャンペーンの実施 ・熱中症予防、酸欠防止、フォークリフト安全運転等キャンペーンの実施 ・フォークリフト安全技能大会の実施 ・災害風化防止の日 ・「安全・安心職場づくり」報告会
人材の育成・養成	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生教育会による教育実行 <ul style="list-style-type: none"> 1. 一般作業員安全衛生教育の実施 2. 安全衛生教育に関する講師養成講習の受講
安全・健康の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の実施 ・産業医、保健師と連携した衛生管理、教育活動
事業所の環境整備及び改善	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音・照明・温度の測定と設備の改善

OHSAS18001 勉強会

従業員一人ひとりが当社の安全衛生活動を再認識するため、CSR推進委員会の安全・品質分会による労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)の社内勉強会を2012年1月13日・2月10日に実施しました。



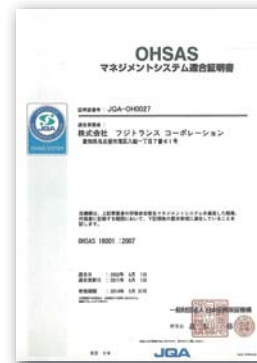
OHSAS18001 勉強会

OHSAS18001 認証

2011年4月、過去3年間の実績をもとに、マネジメントシステムが維持され活動が適正であるかを、更新審査により認証されました。

※認証取得サイト

飛島物流センター(TLC)・第二流通センター(MKD)・流通センター・第二流通センター5号・西浜コンテナヤード・九号地分室・飛島分室・TMH事業所



適合証明書



安全ポスター

◆私の安全宣言

労働安全衛生方針を全従業員に周知させ自覚を促すため、常時携帯できる「私の安全宣言カード」を配布し、役割・責務を踏まえた一年間の目標を各自で宣言しています。四半期ごとに目標達成度を個々に評価し、日々の業務や行動を見直しています。



私の安全宣言カード

◆経営層による安全点検

職場点検

経営層による「現地・現物・現実」確認を、安全衛生活動計画に沿って毎月実施しています。事業所での事故対策の効果確認や安全衛生活動の状況を巡視し、厳しい視点による指導と啓発によって労働災害、物損事故といった業務上災害の未然防止に努めています。今後も安全最優先の職場づくりを目指していきます。



職場点検

「激励の日」巡視

名古屋地区すべての事業所で、酷暑時、寒冷時、繁忙時の厳しい環境下で従事する作業員へ、経営層から激励を行いました。

- 酷暑時の激励 (2011年7月21日)
- 寒冷時の激励 (2011年11月10日)
- 繁忙時の激励 (2012年3月8日)



経営層による激励

◆ゼロ災キャンペーン

災害の抑止、事故防止活動の一環としてフジトランスグループ「ゼロ災キャンペーン」を年2回開催しています。2011年度上期キャンペーンでは、「今から」「ここから」「自分から」決意新たにゼロ災職場”をスローガンに、期間中は全従業員がゼロ災ワッペンを身に付け、ポスター・横断幕を掲示し、名古屋地区をはじめ全国の事業所で安全パトロールを展開しました。手順書に沿った安全作業の点検を行い、“全ての事故ゼロ”を目指していきます。

＜キャンペーン期間＞

■上期(7月1日～12日)

■下期(12月1日～9日)



ゼロ災ワッペン



役員参画パトロール



ゼロ災キャンペーン発会式

◆安全衛生教育

安全衛生教育は、労働災害防止の重要な施策の一つです。安全知識を高める講義や職場での技能訓練を通じて、安全意識の向上に取り組んでいます。

＜主な教育＞

■職長等の安全衛生教育

■フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育

■酸欠危険作業従事者安全衛生教育

■高所作業安全教育

■AED講習



フォークリフト教育



AED講習

◆「安全・安心職場づくり」活動報告会

2012年2月22日「英知・力を結集し築く安全・安心な職場づくり」を統一テーマとして、安全活動報告会を実施しました。各事業所が持つ課題について原因を究明し、業務の見直しによる改善結果の報告が行われ、安全意識の共有の場となりました。

報告会に先立ち、東日本大震災を経験した仙台支店長と清和丸の船長による講話会が行われました。支店従業員と船長の的確な判断と連携により、船舶は速やかに離岸し被害を受けませんでした。また、支店従業員も全員無事に避難することができました。



活動報告会

船舶安全運航

◆運輸安全マネジメントシステム

2006年10月、運輸事業者の安全管理体制構築のための法律が制定され、施行と同時に運輸安全マネジメント制度を導入しました。運航船舶の安全航海の維持を図り、積載貨物の安全確保に関する取組みを推進しています。また、安全管理規程を策定し、年間活動計画にもとづいて安全運航に努める活動を展開しています。

経営トップ乗船安全点検

経営トップによる乗船安全点検を毎年実施しており、2011年度は10月20日から翌21日にかけて名古屋～仙台間の蓉翔丸に乗船して安全点検を行いました。点検後は、乗組員に日頃の激務の労をねぎらい、安全運航の継続を要請しました。



船内巡視

2011年度年間活動計画

活動項目	実施内容
1. 経営トップによる安全活動の関与	1. 経営層による訪船実施 ・役員巡視および安全点検の実施
	2. 経営トップによる乗船実施 ・乗船コミュニケーションによる点検強化 ・本船乗員への激励および安全意識の向上
	3. 安全活動のトップ報告と各船展開 ・安全重点項目に沿った各船の活動報告をトップへ報告、講評結果を各船へ展開
2. 安全意識の徹底	1. 船主との安全意識の共有・向上 ・船舶安全会議の開催
	2. 安全活動の実施報告および点検 ・安全活動の実施状況の点検 ・本船側との意見交換・意識の共有 ・グループ船のクロス点検
	3. 安全ツールの導入・活用 ・アルコールチェッカーの利用状況点検 ・船舶ヒヤリハット事例の収集・展開
	4. 運航管理者(補助者)による乗船点検 ・本船とのコミュニケーション ・船主と連帯(操練への参加)
	5. 内部監査および安全教育の実施 ・内部監査の実施 ・安全教育の実施
3. 危機管理の強化	1. 訓練の実施 ・船舶事故処理訓練の実施 (本船と経営トップを巻き込んだ訓練)
	2. 安全航行関連情報の収集と発信 ・港湾危険情報 ・海上保安庁等からの情報



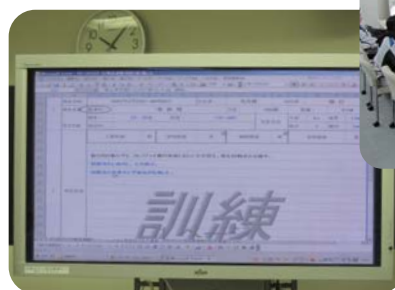
乗組員への激励

船舶事故処理訓練

2012年2月23日、重大事故にも迅速に対応できるよう、当社と鹿児島船舶株式会社によって船舶事故処理訓練を実施しました。本船から火災が発生して負傷者が出たという想定にもとづき、対策本部を設置し、初期消火・積荷被害状況の確認・次港での負傷者搬送依頼等、刻一刻と変化する状況に対応した訓練を行いました。



対策本部の設置



事故速報のテレビ表示

品質の向上

◆ISO9001の活動

軽量貨物から航空宇宙機器まで、ニーズに適した物流サービスを提供するため、2006年3月、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001を認証取得し運用しています。

品質マネジメントの取組み

2011年度 品質マネジメントプログラム

取組項目	実施方策
品質マネジメントシステムの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成教育(外部研修含む) ・担当者、責任者、部内監査員の見直し ・啓発活動(議事録、プログラム、情報収集シート等の回覧)
物損・人身事故 0件 (事故の撲滅)	<ul style="list-style-type: none"> ・部内MTGの実施(社内外事故事例及び対策、その他貨物情報) ・ゼロ災キャンペーンへの参画 ・特殊貨物の作業立合い時の情報収集
納入遅延・誤出荷 0件 (連絡及び手配ミスの削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託先とのミーティング(情報収集シートによる事象発生先との検討) ・関連部門とのミーティング ・手配手順及び作業手順確認
安全・品質確保への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの実施 ・顧客要求事項(契約書の内容確認)
継続的改善	<ul style="list-style-type: none"> ・購買先評価
資源の運用管理	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルマップの見直し及び改訂

ISO9001認証

2011年4月、過去3年間の実績をもとに、マネジメントシステムが維持され活動が適正であるかを、更新審査により認証されました。

※認証取得サイト

本社(第一営業部、第二営業部、第三営業部、国際物流部、通関部)・金城荷扱所・空見荷扱所・基部荷扱所・金城オペレーションセンター・株式会社 豊田自動織機駐在・セントレア営業所



登録証

◆AEO制度

当社は、国際物流におけるセキュリティ管理とコンプライアンス体制が整備された事業者として、名古屋税関より2008年5月に特定保税承認者、2010年11月には認定通関業者の承認を受けました。税関手続上の優遇措置が受けられ、輸出入貨物の受渡においてリードタイムが短縮し、お客様へのサービス向上に繋がっています。

AEO事業者としての重要性や責務を広く社内周知するため、2012年3月9日、CSR推進委員会の安全・品質分会によるAEO制度の勉強会を開催しました。



AEO 勉強会

3 環境・社会貢献

当社は、いつも社会・地域と共に歩んできました。企業として成長させて頂いたことへの感謝の気持ちを込めて、社会・地域への貢献活動を今後も継続していきます。社会の一員として地球環境へ配慮し、人と人との関係を大切にして信頼の絆を深めていきます。

環境負荷の低減

◆ISO14001の活動

当社は、環境保全を最重要課題の一つと位置付け、環境に与える負荷の低減に努め、社会・地域に貢献し続けるためにISO14001の活動に取り組んでいます。

環境マネジメントの取組み

2011年度 環境マネジメントプログラム

取組項目	実施方策
環境マネジメントプログラムの継続的改善	<ul style="list-style-type: none"> 環境責任者の選任 内部監査員の選任 啓発活動（議事録、プログラムの回覧） 手順書の定期見直し 教育・訓練の実施
電力の管理	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の監視 電気機器の消灯、エアコンの温度設定 クールビズへの参加
コピー用紙の管理	<ul style="list-style-type: none"> 購入量の監視 裏紙使用の徹底、両面使用の推進
廃棄物（事務所・船舶）の管理	<ul style="list-style-type: none"> 可燃・不燃ゴミの排出量の監視 廃コピー、新聞紙等のリサイクル 廃棄物分別チェック
汚染の低減	<ul style="list-style-type: none"> 社用車のエコドライブの実施 商用車のエコドライブの啓発活動 船舶の減速運航の実施
緊急管理（事務所・船舶）	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施 油流出事故対応訓練の実施
地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域の清掃作業
エコ活動	<ul style="list-style-type: none"> 改善提案活動の推進 行政等のエコ活動への参加 得意先とのエコ活動の推進
最新情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> 官庁等への訪問 グループウェアへのアクセス 契約書の見直し
設備および施設の管理（法的管理含む）	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設の管理 指定可燃物の管理 防火施設の管理 各種届出の管理
産業廃棄物（船舶含む）の管理	<ul style="list-style-type: none"> マニフェストの管理

ISO14001認証

環境マネジメントシステムを運用し、PDCAサイクルによる継続的改善を実践しています。

2002年6月にISO14001規格の認証を取得し、更なるマネジメントシステムの構築を図るため、徐々にサイトの拡大を図ってきました。

2011年4月、登録事業所すべてにおいて過去3年間の実績をもとに、マネジメントシステムが維持され活動が適正であるかを、更新審査により認証されました。

※認証取得サイト

本社・九号地分室・金城荷扱所・空見荷扱所・基部荷扱所・金城オペレーションセンター・豊橋支店・鹿児島船舶株式会社・船舶（ふじき、蓉翔丸、清和丸）



登録証

◆植林活動(フジップの森づくり)

森と海が一元管理されることによって、物質循環機能が適切に保たれ、豊かで多用な生態系と自然環境を保全します。この貴重な財産を次世代へと継承するため、森と海の環境の維持に努めなければなりません。

当社は、森の環境保全と植林活動を行うため、北海道岩内郡共和町で、面積1,774,860㎡(名古屋ドーム36個分)の森林を購入し、「フジップの森」と名付けました。将来カーボンオフセット※1)を行うために、オフセット・クレジット(J-VER)※2)の発行を目指しています。

2011年10月15日、「フジップの森づくり IN 共和町」植樹祭を行いました。これは植林が必要とされる土地の一部を利用して実施したものです。森林は、自然のままで残しておく天然林と人口林の2種類があり、人口林は「植える→育てる→伐る→使う」というサイクルで持続的に行い、有効活用しながら森そのものを健全に保つことを目的としています。お客様や従業員とその家族など50名を超える方々に参加して頂き、「ミズナラ」と「オニグルミ」の苗木約200本を植えました。

植樹祭の終了後、父兄からは「貴重な体験ができ、環境への取組みの大切さを再認識しました」という言葉を頂き、子供たちは「土を掘るのは大変だったけど、木を植えたことがないので、いい思い出になりました。大きくなりますように」「自分で植林した木の成長をまた見に来たい」と話していました。

※1)カーボンオフセット

直接削減できないCO2(カーボン)の排出分を、植林やクリーンエネルギーなどの事業で相殺(オフセット)する仕組み。

※2)オフセット・クレジット(J-VER)

カーボンオフセットに用いるために、発行するクレジット。



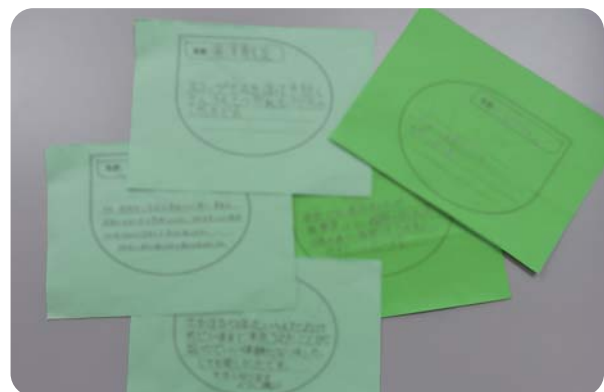
フジップの森づくり参加者



記念標柱の設置



植樹祭の様子



参加者のご意見

◆とつとりの森「カーボンオフセット」パートナー協定

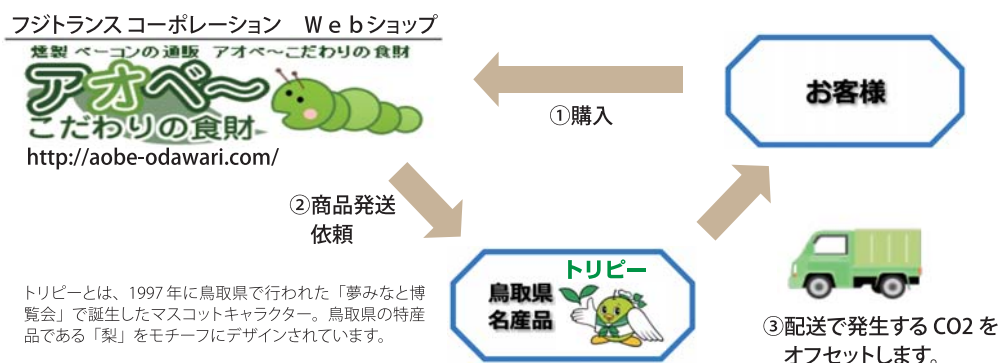
2011年4月22日、当社は鳥取県よりカーボン・オフセット・クレジット(50 t-CO2)を購入し、「カーボン・オフセット」パートナー協定を結びました。鳥取県の県有林の植林や森林保護活動に貢献することで、地球温暖化の抑制を図ります。

当社のWebショップ「アオベ〜こだわりの食財」では、こだわりをもった生産者による厳選された28品を販売しています。そのうち鳥取県産の14品については、配送時に生じるCO2をオフセットしています。

鳥取県とのつながりは、2010年のメッセナゴヤにおいて、当社の取組みに共感して頂いたことが始まりでした。



藤井鳥取県副知事(右)



◆ペットボトルキャップの回収活動

ペットボトルキャップの売却代金の寄付によって、NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」は、世界の子どもたちへワクチンを送る活動をしています。

この活動をニュースで知った従業員の呼びかけで賛同者が増え、初めは1事業所のキャップ回収でしたが、今では30事業所に広がっています。自動販売機近くに回収ボックスを設置し、半年に一度集計を行っています。活動は従業員の家族にも広がり、各家庭のキャップを集めることで、2011年度は6万個以上を回収できました。



回収ボックス



キャップからワクチンへ

◆船舶による清掃活動

CSR推進委員会の環境・社会貢献分会による地域貢献活動として、2012年3月21日、足船「フジトランス」を利用した港内清掃活動を実施しました。

「港や川をきれいに」というのぼりを船に立て、役員を含め総勢13名で名古屋港ガーデン埠頭を出航し、九号地岸壁から堀川の河口付近まで清掃を行いました。

当日は天候にめぐまれましたが風が強く、最初は漂流しているゴミを簡単にすくうことができませんでした。船長の操船に合わせてタモ網を上げるうちにコツを覚え、うまくすくうと参加者からは歓声があがりました。

約2時間の清掃作業を終えて、きれいになった海をながめていると「この海や川をこれからも守っていきたい」と思いを新たにしました。

この清掃活動にあたり、社団法人名古屋清港会の皆様には実施前のトライアル並びに廃棄処理にご協力頂きました。御礼申し上げます。



清掃前打合せ



足船「フジトランス」



ゴミの回収



のぼり

社会・地域への貢献

◆児童福祉施設への訪問

地域社会との交流活動として、毎年名古屋地区の児童福祉施設へクリスマスプレゼントを贈っています。

一昨年からは、サンタとトナカイに扮し、クリスマス会に参加しました。サンタとトナカイが入場すると、子供たちは大興奮で迎えてくれます。プレゼントを手渡すと、みんなかわいい笑顔になり私たちも嬉しくなりました。

後日、子供達から「おいしいケーキありがとう」父兄からは「クリスマス会をととても楽しみにしており、今年もみんな大喜びでした」と嬉しい声がたくさん詰まったお手紙が届きました。



クリスマスプレゼント



父兄や子供達から頂いたお手紙

◆物品収集ボランティア

東日本大震災支援として二豊会※1)より、社会貢献活動の協力要請があり、当社は環境・社会貢献分会を中心に収集活動を行いました。

活動内容

被災地支援としての物品収集

物品収集期間：2011年9月1日～10月11日

対象物品 ■ベルマーク

■書き損じハガキ

■不要携帯電話

■未使用はがき

■未使用クオカード及び図書カード

■未使用テレホンカード

収集後の分会メンバーによる仕訳作業は、慣れないこともあり大変でしたが、短期間での集計ができ「二豊会」へ届けることができました。

※1)二豊会とは協豊会(部品サプライヤーの任意団体)及び栄豊会(設備・物流サプライヤーの任意団体)をいう。



収集後の仕訳作業



収集物品を「二豊会」へ

◆リサイクル・ブック・エイド活動への参加

家庭で不要になった書籍・CD・ゲームソフトを社内で回収する「リサイクル・ブック・エイド」活動に参加しました。

これは、換金益を公益社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA)に寄付し、アジア諸国の子どもたちへ母国語の絵本を出版するという活動です。

シャンティ国際ボランティア会からは当社に感謝状を頂きました。



回収した書籍



◆周辺地域美化活動

2011年6月6日、社内有志による九号地分室周辺での美化活動を行いました。これは、名古屋市の「市民・事業者エコキャンペーン」への参加の一環として、一昨年より開始しています。

この地域のゴミを少しでも減らせるよう今後も美化活動を継続していきます。

また、11月28日、金城地区の各事業所においても周辺美化活動を行いました。



九号地分室周辺美化活動

◆交通安全立哨

「交通事故死ゼロの日」に合わせ、朝7時45分から8時30分まで交通安全立哨を行っています。事業所周辺で「交通安全運動実施中」「シートベルトを着用しましょう」と書かれたのぼりを持ち、交通安全を呼びかけています。駐車場入口でも、シートベルトの着用を確認しています。

この活動により、通勤・通学されるみなさまの安全が確保されるよう願っています。



本社地区による街頭立会

◆メッセナゴヤ2011

メッセナゴヤは、2005年に開催された「愛・地球博」(愛知万博)の理念を継承する事業として、2006年から始まりました。このイベントは、東海地方を中心に各種企業・団体が出展者として集い、自社の製品やサービスを名古屋から国内外に広く情報発信し、活発なビジネス交流を展開していくという、名古屋最大級の「国際総合展示会」です。

6回目となる今回は、明日を拓く提案～安全・環境・モノづくり～を総合テーマとして、過去最高となる500を超える企業・団体が参加しました。当社は、このメッセナゴヤに2008年より出展し、2011年は以下のテーマで参加しています。

環境・エネルギー

「エコシップ」・「環境にやさしい倉庫」・「フジップの森づくり」・「カーボンオフセット」・「モーダルシフト」といった、環境負荷を低減する当社の活動を壁面パネルに掲示しました。

安全・安心

1964年就航【苦小牧丸】と、2006年就航【清和丸】のモデルシップを展示し、船体構造の比較による安全性の違いを説明しました。また当社プロモーションビデオとして、次世代航空機の主要部品の輸送映像をブース内で放映し、安全輸送の一例を紹介しました。

新たな成長産業

総合物流サービス「米粒からロケットまで」をキーワードに、従来から輸送している各種車両や自動車用部品、家電製品、農産物、紙製品のみならず、ロケットや橋梁といった重量物貨物の輸送方法や国内外のネットワークについて説明しました。

期間中は、環境にちなんだクイズを出題し、回答者の方々には関連会社の厚真ファームで生産されたメイクインや、フジップの森の林道整備において発生した間伐材(シラカバ材)を使用した黒板消し型ストラップを進呈しました。

メイクインは来場者の方々にも毎年喜ばれており、「また来年も」と言った声も聞かれます。

(4日間の当社ブース来場者数 3,528名)



出展ブース



環境・エネルギーの壁面パネル



物流サービスの壁面パネル



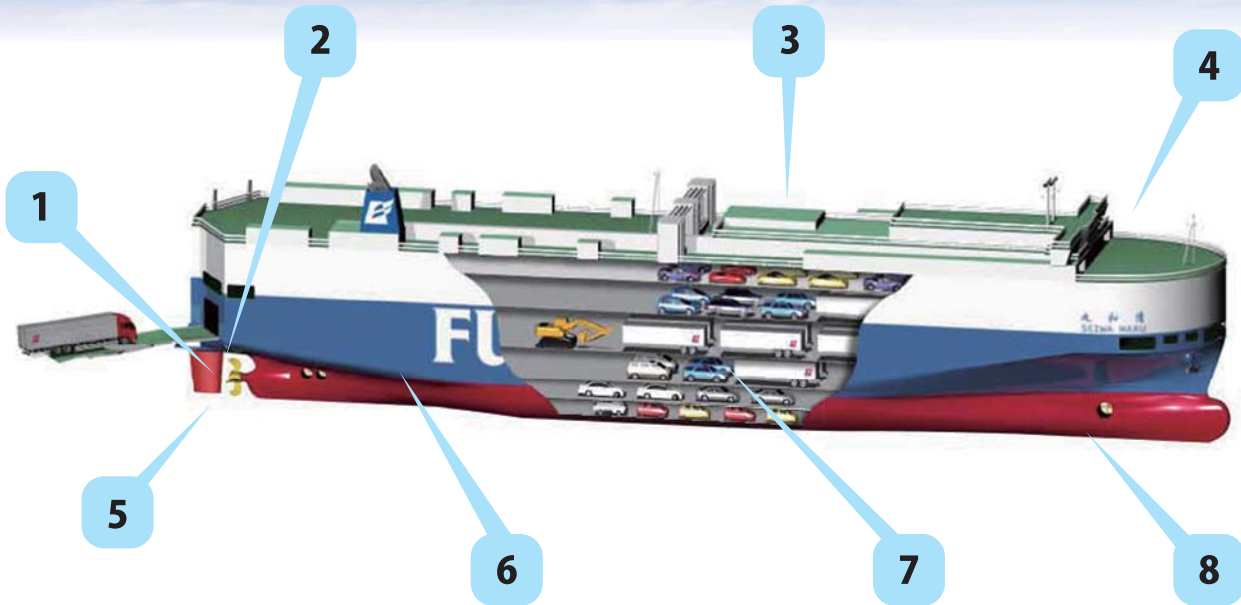
北海道で生産した
メイクイン



間伐材で作成した
ストラップ

◆エコシップ

陸上輸送よりも環境負荷の低いモーダルシフトを推進し、運航する船舶においても環境に配慮するためにさまざまな工夫を凝らしています。



【船名：清和丸】2006年就航

- | | |
|--------------|---|
| 1 HVFCの装備 | ➡ プロペラ推力が増大し、効率が向上します。 |
| 2 軸発電装置 | ➡ 航海中は、プロペラ軸の回転を利用して発電します。発電機の運転を抑えて燃費の改善が可能です。 |
| 3 生ごみ処理機の装備 | ➡ 食物残さを船外に放出せず、完全分解しています。 |
| 4 効率運航の確保 | ➡ GPS等と連動させた海図プロッターによる、効率の良い運航を実現しています。 |
| 5 可変ピッチプロペラ | ➡ 前後進および速力の変更が固定式より効率がよく、燃費改善の効果があります。 |
| 6 助燃剤による燃費節減 | ➡ 燃料節減と大気汚染防止に寄与しています。 |
| 7 省エネトランスの装備 | ➡ ムダのない電圧調整により、燃料消費量を抑えています。 |
| 8 船底防汚塗料の使用 | ➡ 環境にやさしい塗料を採用しています。 |

船内蛍光灯への省エネトランス装備

トランスメーカーと共同開発による省電力トランスを船内の電源供給系統に装備しています。



- ・電気に換算した場合 ➡ 34,560kwh 減量/年 【家庭用冷蔵庫 77 台分/年】
- ・燃料に換算した場合 ➡ 7,839 L 減量/年 【ビール大瓶 12,384 本/年】
- ・CO2に換算した場合 ➡ 23.3 tCO2 削減/年 【名古屋ドーム 0.7 個分の広さの森林に相当/年】

◆豊田物流センターとエコ機能

2011年4月26日、愛知県豊田市に内陸倉庫「豊田物流センター」が完成しました。この倉庫は豊田東インターに程近く、高速・幹線道路へのアクセスが便利なのが特徴で、「近隣環境、働く人、地球にやさしい Low Emission Eco倉庫」をコンセプトに建設しました。

施設概要

所在地：愛知県豊田市渡川町寄田100

構造：鉄骨2階建倉庫

敷地面積：18,204㎡(5,516坪)

※サッカーコート 約2面半

倉庫面積：1階 8,554㎡(2,588坪)

：2階 7,946㎡(2,404坪)

合計16,514㎡(4,996坪)

床耐荷重：3.0 t/㎡

庫内設備：垂直自動搬送機 4基(2.5t)

：貨物エレベーター 1基(4.0 t)

：バンニングドックレベラー(海上コンテナ用)6基



豊田物流センターの太陽光パネル



豊田物流センターの入口

太陽光発電システム

屋上には三河地区最大級の太陽光発電システムを備え、発電容量は460kwで倉庫全体の電力を賄える規模です。年間で480万kwh発電することにより、CO2を227t 削減します。発電時に、廃棄物・温排水・排気・騒音・振動などの発生がなく、発電のピークが昼間の需要ピークと重なるので、消費電力の削減にも貢献します。



発電システムの概要

倉庫内LED照明設置

倉庫内には、新たな光源として注目されているLED照明を使用し、LEDの高耐久性とCO2の削減により環境への負荷を低減させています。

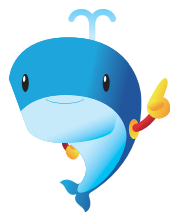


LED 照明



表紙のデザインについて

CSR 初年度となる今年は、CSR 方針「『和』でつなぐ人と社会」をモチーフにしたイラストを表紙としました。
このイラストは、お客様・地域の皆様・従業員が地球を中心に手を取り合っている様子を表し、みんなが気持ちをひとつにして暮らしやすい社会を創っていく思いを込めています。



■CSR レポート 2012 に関するお問い合わせ先■

フジトランス コーポレーション

CSR 推進委員会 事務局 〒455-0032 愛知県名古屋市港区入船一丁目7番41号
TEL 052-652-7810 FAX 052-652-7002 URL : <http://www.fujitrans.co.jp> Mail : csrdsn@ftc.fujitrans.co.jp